

北陸電力（株）志賀原子力発電所 2号機の申請内容に係る主要な論点

新規制基準に対して提出された原子炉設置変更許可申請等に関し、これまでの審査会合やヒアリングを通じて確認した結果、主要な論点を以下の通り指摘する。ただし、これらについては、継続中の敷地内破碎帯評価に関して原子力規制委員会として一定の見解がとりまとまった後、審査を進める。なお、これらは、現時点におけるものであり、今後の審査の進捗により変更が有り得る。

（地盤・地震関係）

1. 敷地の地下構造を把握するために実施した調査・分析について、特異な傾向の有無を確認するため、全ての評価結果を提示すること。
2. 策定している基準地震動の妥当性等を検証するため、1～2号機の原子炉建屋基礎版上で得られた地震観測記録を号機間毎に比較すること。
3. 原子炉建屋等の耐震重要施設に加え、重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に関わる検討内容を示すこと。
4. 内陸地殻内地震について、地震規模、震源領域等の設定に関わる検討内容を示すこと。
5. 応答スペクトルに基づく地震動評価について、経験式の適用性を含めて検討内容を示すこと。
6. 「震源を特定せず策定する地震動」に関して、基準地震動評価ガイドにある地震観測記録収集対象事例の16地震について、観測記録等の分析・検討内容を示すこと。

（火山関係）

7. 敷地への降下火砕物等の影響に関して、詳細な評価結果を提示すること。

（津波関係）

8. 津波の評価について、波源の位置、波源の特性等の設定に関わる検討内容を示すこと。

（プラント関係）

9. （竜巻）竜巻影響評価に関し、基準竜巻設定の信頼性（考慮している地域等）や飛来物への防護策に関する妥当性等を説明すること。
10. （火山）降下物（火山灰）の性状を踏まえた建物、機器への影響を説明すること。また、積雪との重畳について説明すること。

11. (内部火災) 火災防護対策の区画設定、火災感知設備、消火設備等の妥当性を説明すること。
12. (内部溢水) 循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁閉止インターロックの設置等による、既存施設への影響について説明すること。
13. 確率論的リスク評価 (PRA) の手法及び実施結果について、説明すること。
14. PRA の実施結果を踏まえ、重大事故等対策の有効性評価における事故シーケンスグループ抽出等の妥当性、格納容器破損モード等に関する評価の十分性、対策に用いられる資機材や体制整備・手順等に関する妥当性について、プラントの特徴を踏まえて検討の上、説明すること。
15. 重要事故シーケンス及び評価事故シーケンスに対する対策等のシナリオ (事故状態、使用できる設備等) を想定する際の深層防護の考え方について説明すること。
16. 格納容器圧力逃がし装置について再検討すること。
17. 大規模損壊時等の対策に用いられる資機材や体制整備・手順等に関する妥当性について、プラントの特徴を踏まえて検討の上、説明すること。
18. 安全を確保・向上させるための原子炉主任技術者等の権限・体制、協力会社を含め全社的体制を説明すること。